

平成 23 年度第 5 回神戸市保健医療審議会 保健医療連絡協議専門分科会（議事録）

日時：平成23年11月16日（水）午後 1 時30分～午後 2 時32分
場所：神戸市役所 1 号館 14 階大会議室
議題：病院開設許可事務に係る意見について
・ 西神戸医療センター（増床）
・ （仮称）本山リハビリテーション病院（新設）
・ （仮称）神戸国際フロンティアメディカルセンター（新設）

議題 病院開設許可事務に係る意見について

事務局より、委員の交代および代理委員の紹介（資料 1 を元に）、病院開設許可等事務に関する事前協議事務処理要領（資料 2）・病床整備（配分）結果及び付記事項（資料 3）の説明

【西神戸医療センター】 開設者より資料 4 の説明

〔質疑〕

● 副分科会長

西神戸医療センターは、神戸西地域の基幹病院そのものである。西、垂水、須磨の3区における地域連携は目覚ましいものがあり、ますます充実させていただきたい。

● 委員

口腔外科の外来の受け入れが停滞気味であると聞いているが、増床によって多少なりともスムーズに行けば良いと考えているのでお願いします。

● 委員

新しく30名の看護師の増員ということだが、神戸圏域においては病床が新たに配分され、看護師の確保は非常に困難な状況である中、看護師の退職率や確保策について伺いたい。

○ 開設者

退職率は最近非常に高く、昨年においては16.9%にのぼる。何とか10%程度に下げたいと考えている。離職防止策について、現在、定着促進協議会を院内に設け、高い離職率の原因を分析し、対策をとっている。また、新たな看護師の応募を増やすため、事務局と看護師が中心となるプロジェクトチームを作るなどし、手をうっているところである。

【（仮称）本山リハビリテーション病院】 開設者より資料 5 の説明

〔質疑〕

● 副分科会長

新病院開設とともに同一法人内の病院の病床を移転し、増床するということであるが、移転元の病院と新病院はどれ位離れているのか。

○ 開設者

約300メートルである。

● 副分科会長

移転元の病院と新病院の間で患者が往来されるであろうが、移動時の安全は確保されるのか。

○ 開設者

寝台車や救急車で対応を考えている。具体的な搬送の手順は、ベッドに患者をお乗せしたままエレベーターで地下の駐車場に降り、そこで車両にお乗りいただく。

● 副分科会長

情報のやりとりについてはどうか。

○ 開設者

電子カルテにより、オンラインでやりとりができるようにしたい。

- 副分科会長
2つの病院が近くにあり、同じカルテを共有していくということによろしいか。
- 開設者
そのとおりである。電子カルテにより、画像も含め情報共有できるようにしたい。
- 副分科会長
情報セキュリティについてはどうか。
- 開設者
万全をはかりたい。
- 副分科会長
現在の病院では非常に在宅への復帰率が高いと聞いたが、神戸市東部では回復期リハビリテーション病院が非常に少ないことから、在宅への復帰率も十分に維持していただきたい。
- 開設者
頑張りたいと思う。
- 委員
移転元病院には一般病床があり、連携することで回復期リハビリテーションにも対応できる形になるであろうから、重症や合併症を持たれた患者のリハビリテーション機能を十分に検討いただき、向上させていただきたい。
- 委員
地域連携室はどこに設置されるのか。
- 開設者
1階の相談室内に設置する。
- 委員
相談員は予定が3名ということだが、今の病院にも配置されているのか。
- 開設者
今の病院には3名おり、それとは別にリハビリ病棟ごとに各1名から2名配置する予定である。
- 委員
今の病院から新病院に病床を移転することについて、地元医師会から意見は無かったか。
- 開設者
特に無かった。外来機能の有無について問われたが、新病院ではリハビリテーションが中心となるため殆ど無いと回答した。病床の構成については特段問われなかった。
- 委員
ごく近距離の移転ということで、地元の医師会は特別の意見が無かったというふうに考えてよろしいか。
- 開設者
そうであろうと考える。

【(仮称) 神戸国際フロンティアメディカルセンター】

開設者より資料6の説明

〔質疑〕

- 副分科会長
3点お願いがある。
1点目は、近隣の高度先進病院群との連携についてである。内視鏡手術を行う病院は大変多くなってきているので、競合が生じないよう情報交換を十分に行っていただき、患者本位の治療を行っていただきたい。
2点目は、TPP（環太平洋連携協定）が世間で話題になっているが、日本の医療がグローバル化する方向にあっても、移植医療ツーリズムは行わない、倫理綱領を遵守するという基本理念を大切にしていきたい。
3点目は、地元医師会からの意見を十分に深く受けとめていただきたい。情報交換を行うため、定期的に地元医師会と協議会を持つという点は是非守っていただきたい。
- 委員
私からも3点言及させていただく。
1点目は看護師の確保について。103名とはかなりの数であり、本当に確保できるのか心配である。

また、スペシャリストについてどのようにお考えか、伺いたい。

2点目は、防災計画について伺いたい。

3点目は、図面上、霊安室を地上階に計画されている点、人間の尊厳という観点から高く評価したい。
また、瞑想室について伺いたい。

○ **開設者**

看護師確保は大変重要な課題であり、病院で指導的な立場であられた方々を中心に進めている。

スペシャリストについて、計画ではまずリーダーに優れた人物を選定し、そのリーダーの元で若者を育成、或いは臨床の場に配置しようと考えている。

霊安室に関しては上の階にある方が良いと考えている。瞑想室については患者だけではなく、スタッフの利用も考えている。

● **分科会長**

当初から120床で開業されるのか。

○ **開設者**

その予定であるが、稼働率等の問題はあある。化学療法では他医療機関にお任せする形で、連携を考えたい。

[審議]

[西神戸医療センター]

● **分科会長**

西神戸医療センターについてお認めしてよろしいか。

(異議なし)

[(仮称) 本山リハビリテーション病院]

● **委員**

東灘区医師会の意見は審議中とのことだが、具体的にはどのような状況であるのか。

● **副分科会長**

地元医師会が認めないという意見を提出してきたら、もう一度やり直す必要がある。

◎ **事務局**

開設者からは、方向性など概ね了承されているものの、東灘区医師会で意見の取りまとめに時間を要しており、11月25日に回答される予定と聞いている。

● **副分科会長**

私が聞いているところでは、新病院建設に関しては歓迎しているということである。急性期医療をしっかり行っていただくことに関しては問題がなく、近隣医療機関の医師も了承されていると聞く。しかし、開設者から東灘区医師会へ、病床移転についての説明があったのかどうかは明確に聞いていない。従って、その点は確認する必要がある。

◎ **事務局**

開設者からは、本日の説明と同様のものを行われたと聞いているが、再度確認する。また、東灘区医師会からの回答があった場合は、結果について報告するよう伝える。

● **分科会長**

報告あり次第、私と副分科会長に報告いただきたい。本日は病床移転について医師会に了承されているという前提で議論を進め、説明内容からは有用な医療機関と認識したが、医師会より了承されない場合はもう1度審議するというところでよろしいか。

(異議なし)

[(仮称) 神戸国際フロンティアメディカルセンター]

● **委員**

最初から120床で開業するのは難しいのではないか。

● **分科会長**

私もそう考える。低侵襲がんセンターの開業も80床の内、50床で開業すると聞いている。

● **委員**

資金は確保できたのか。

● **分科会長**

MS（メディカルサービス）法人を利用されると記載されているが、不明確である。

● **委員**

説明でも明確には言及されていない。

◎ **事務局**

当初、SPC法人（特定目的会社）と聞いていたが、出資に対する配当を重視する法人形態となるため、MS法人を利用されることを検討していると聞いている。その法人に病院経営に詳しい方が加入され、資金の圧縮など健全経営を目指されるそうだ。

● **分科会長**

建物についても設備についても、費用が幾らかかるのかが見えない。

◎ **事務局**

病床配分部会では60億円の資金調達が必要という計画で説明されたが、今は30億円程度から更に圧縮するよう協議されていると聞いている。尚、機器はリースで計画されるので、殆どが建物にかかる資金となる。

● **委員**

兵庫県によると、ポートアイランドを含む臨海部はかなり浸水する恐れがあるという報告がされているが、その辺りの対策について提言をされたほうが良いと考える。

● **副分科会長**

今後、東海、東南海、南海地震等の大地震が起こる恐れが指摘されており、さらに都市直下型地震が連動してくるというシナリオも考えられる。10月14日に出された兵庫県の防災計画では、ポートアイランドの南側、つまり病院群が集中する地域は、神戸空港近辺の防潮堤が5メートルから10メートルの高さがあるため浸水しない、大丈夫というシナリオであるが、北埠頭近辺は防潮堤が低く、津波による海面の上昇において、迂回や遡上などの効果により、海水が回りこんでくる可能性もある。東日本大震災における宮古湾のケースでは、6メートルの津波が遡上し40.5メートルになった。そういった点を考慮すれば、ポートアイランドの南側に病院をつくることについて、医師会として非常に心配する。

また、KIFMEC病院（神戸国際フロンティアメディカルセンター）について医師会が一番懸念するのは生体肝移植のことである。移植ツーリズムと称するような国際医療ツーリズムが行われ、海外の方々に対して肝移植を行うことは大きな倫理問題をはらむため、神戸でその様なことを行っただけではいけないと医師会が幾度と指摘してきた点について、ようやく理解を得られたと考えているが、今後、TPPが発効するようなことになった場合、KIFMEC病院が再び医療ツーリズムを目指されるようなことにならないよう、意見したいと考える。また、資金面については問題があると考えている。

● **委員**

地元医師会の意見書が出ているが、地元医師会でも資金計画については良く判らないところがあったと聞いている。これほどの大きな事業において、資金計画が明確でないのは問題であるということで、意見書の一番上に記述されている。また、病床配分部会の付記事項では、120床のうち生体肝移植は20床配分するとしたが、KIFMEC病院の基本計画では内訳が記述されていないため、当分科会の意見では、生体肝移植は20床に限るという文言が必要と考える。

また、医療ツーリズムについてKIFMEC病院がクローズアップされることがあったが、そういったマスコミの報道を積極的に修正しようとする態度が見られてない点についても意見が出されている。これらの意見を参考にすべきではないか。

● **委員**

地元医師会との定期的な協議会の開催についても言及するべきと考える。

● **委員**

ポートアイランドに中央市民病院、先端医療センター、さらに低侵襲がん医療センターが開設予定であり、またKIFMEC病院ができるとなると、それぞれの病院が競合しないよう、しっかりと連携していただきたいと考える。

● **委員**

周辺との連携、役割分担で、それぞれが存続できるような形で、市民にもわかりやすい医療提供ができるということが一番大事であると考えているので、そのあたりの配慮をお願いしたい。

● **分科会長**

それでは当分科会として、各委員が言及された付帯条件を付けたうえで承認することでよろしいか。

（異議なし）

〔今後の予定について、事務局から説明〕

◎ 事務局

本日の3件について、当協議会の意見書、ならびに議事録については、事務局で文案作成し、分科会長、副分科会長の確認を経て、本日出席委員に確認させていただいた上で、県に提出させていただく。

● 分科会長

それでは閉会とする。

以上